

# 希望の船

We love BIWAKO

「みずうみに学んで世界の明日をひらく人」

滋賀県立びわ湖フローティングスクール

〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号

<https://uminoko.jp/>

## 「うみのこ」祝40周年

【所長 安江利光】

びわ湖フローティングスクールは、1983年に本格運行を開始しました。その当時、琵琶湖の水質が急速に悪化し、アオコや淡水赤潮が毎年のように発生していました。琵琶湖の水質悪化を間近で見ていた滋賀県の人々は、リンを含む洗剤を使わないように呼びかける、いわゆる「せっけん運動」と呼ばれる市民運動を起こしました。「石けん運動」の市民らの要求によって、行政は「琵琶湖条例」をつくり、リンを含む合成洗剤の販売、使用等の禁止、窒素やリンの工場排水規制を行いました。この運動は日本全国に先駆けて行われたもので、琵琶湖が身近にあり、その変化に毎日触れ、環境に対する意識が高いからこそ起きた運動だと考えます。

こうした中で、1983年、滋賀県が誇る、滋賀県立びわ湖フローティングスクールは誕生しました。フローティングスクールは、子どもたちに、ふるさと滋賀の自然環境に目を向けさせるとともに、豊かな社会性を身につけさせ、未来の琵琶湖を守っていききたいという県民の願いの現れと考えています。フローティングスクールで利用する船は、県民への募集により「うみのこ」と名づけられました。現在の「うみのこ」は、ご承知のとおり2018年から就航している2代目となります。

県民の願いを一身に受けて誕生した学習船「うみのこ」が8月で40周年を迎えられたことは、フローティングスクールの事業に携わるものとして非常にうれしく、誇りに感じます。

フローティングスクールには県内すべての小学5年生、年間約1万4000人の子どもたちが乗船します。1983年からでは、約61万人以上の子どもたちが乗船しており、滋賀県の人口が141万人なので、県民のおよそ5分の2の人々が乗船していることとなります。40年続いている事業ですので親子で時を隔てて、学習船「うみのこ」に乗船し、同じ学習や体験をしたという方も増えてきています。家庭で、



昭和58年初代「うみのこ」進水式の様子

「うみのこ」という共通の話題で会話ができたというようなお話を伺うたびに心が熱くなります。

8月11日には、滋賀県議会議長様をはじめとした多くのご来賓の方々と、大杉副知事、福永教育長をはじめとした主催者側の方々、一般参加者の方々にご出席いただき、盛大に40周年記念式典を執り行うことができました。お忙しい中ご参加いただいた皆様方に、この場をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。